

ソラシル未来プロジェクト2018 ~空知を知って地域の未来を考える~

概要

- 道政の最重要課題である「人口減少」が道内でも著しく進行する空知地域において、地元に住む人がその地域の素晴らしさを発見し、地域に誇りを持つことが将来的にも地域に住み続けるきっかけとなり、持続可能な地域としていくため、「シビックプライド」(地元への誇り・愛着)を高めていく取組が必要。
- 管内を3つのブロックに分け、それぞれの地域性を生かした取組を行っている中高生や、地域で先進的なまちづくり活動をされている方々に直接語っていただくことで、地域住民のシビックプライドを掘り起こし、住民一人一人が考え、行動するきっかけづくりとする、「ソラシル未来授業」を実施。
- 「外から見た空知」「中から見た空知」「空知の未来を考える」をテーマに取材を行い、空知の情報サイト「そらち・デ・ビュー」に連載記事を掲載し、これまで気が付かなかった空知の魅力について、「ソラシル未来授業Web版」として情報発信を実施。

教育局との連携

- 知事部局と教育庁との連携の観点から、空知教育局と協力し、地元の中高生にメインキャストとして参画してもらうことで、生徒はもとより、教育関係者、保護者、さらには「地域を元気にしたい!」、「地域の良さを他の人にも知って欲しい!」という熱い想いを持ったまちづくりに関心のある方たちへ一つのきっかけを作ることができた。
- 引き続き、教育局と連携を図りながら取組を進めていく。

参加学校

- ・新十津川中「札幌市内(チカホ等)での町の魅力PR」
- ・長沼高「自然豊かな長沼にタンチョウを呼び戻す活動」
- ・沼田中「夜高あんどん祭りにかける熱い想い」

開催結果



空知を想ふ、ヒトづくり

住民ひとりひとりが考え、行動する地域としていくために

①ソラシル未来授業

来場者のべ
201名

南・中・北空知で全3回実施

講師

地元の中高生、地域おこし協力隊、
ワイナリー従業員、タイ人役場職員、
リサイクルショップ店主、農家 など

テーマ

・ワイナリー周辺などの美しい四季
・タイから見た北海道
・命の大切さを語りつなぐ など



参加者の声

- 住んでいる者にとっては、自分の街は何もかもが当たり前で、そのよさに気付く事はなかなかできないので、周りの街の方から自身の町の良さを改めて気付かせてもらった良い企画であった。
- 生まれ育った町での体験や学び・地域への愛着が郷土愛を育むのだと思った。
- 人と人との繋がりが地域を動かし、街づくりに繋がっているという点が、各町の発表で共通していると感じた。
- 中学生が大変おもしろい活動をしていて素晴らしいと思います。発表した生徒も大変良い経験ができたと思います。

②ソラシル未来授業Web版

サイトアクセス数
前年同月対比
189%

【参考：サイトURL】
<http://sorachi-de-view.com/sorachi/sorashirumatome>



○YOUは何しに空知へ?

旅行で来た方や移住した方など、通りすがりの道外出身の人々に、「何しに空知に来たのか?」「空知ってどう?」など聞いてみるガチンコ企画。テーマは「外から見た空知」。



○笹川リョータの床屋放浪記

街のディープな情報を聞くなら、床屋さんに限る!ということまで、空知に根付く老舗理容室で散髪しながら、店主に街の変遷などを聞いていく。テーマは「中から見た空知」。



○夜のオアシス 空トピア

空知各地の「夜のオアシス」に、地元の若者を集ってもらい、美味しいものを食べながら、「理想の空知=空トピア」を考えていく。テーマは「空知の未来を考える」。

